


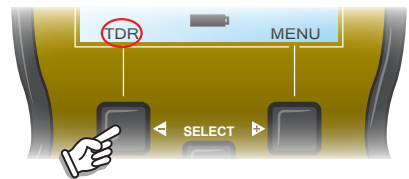
TDR方式で測長を行う場合、正確な測長結果を得るために各種ケーブルに  
適応したVP値（パルスの伝搬速度）を設定する必要があります。  
また、同種のケーブルであればケーブルの長さに関わらず同じVP値で  
測長を行う事ができます。





- 1, ①  を押して電源を入れます。  
次に目的線と同種の長さが分かる  
ケーブルを用意して（5m以上）  
芯線に赤黒のクリップを接続します。

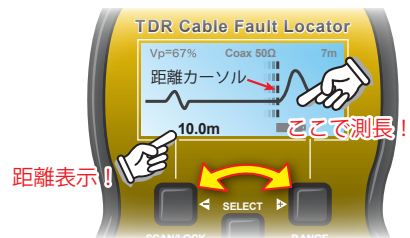


全てのメタルケーブルに対応！  
末端は開放・短絡・機器接続でもOK！

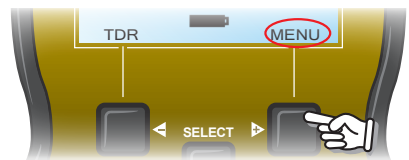
- 2, 【TDR】を選択して測長開始します。



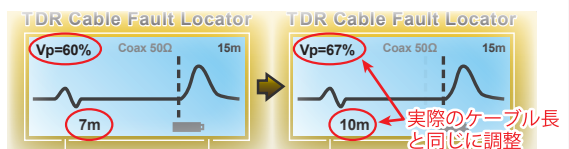
- 3,     で距離カーソル（縦点線）の  
位置を **波形の変化が始まる箇所**に  
合わせ、左下に表示された距離が  
測長結果となります。



- 4, 測長結果とケーブル実寸の間に誤差  
がある場合は【MENU】から  
%を選んでVP値を変更します。



- 5, VP値を調整してケーブル実寸と  
測長結果が等しくなればVP値  
の設定は完了です。



- VP値上げる（▶）と測長結果が長く表示されます。
- VP値下げる（◀）と測長結果が短く表示されます。

※さらに詳しい取扱いについては付属の説明書をお読み下さい。